

## 紹介受診重点医療機関への発議について

長野県厚生農業協同組合連合会  
北信総合病院  
統括院長 荒井 裕国

### 1、背景

北信総合病院は 1945 年開設以来これまで、急性期から慢性期まで幅広い医療を提供し、地域住民の健康を守るために様々な役割を担ってきました。かかりつけ医機能と専門医機能の両面を持った全人的、継続的な医療スタイルは、患者さん・地域住民の信頼を得て、北信総合病院は発展してきました。

しかし、病院の発展、患者さんの増加の一方、医師をはじめとする職員体制には限りがある中で、診療待ち時間の増大、職員の長時間労働などの課題も生まれてきました。これは地域に開業医が少ない事情から、当院がかかりつけ医機能も担い、かつ救急車で来院される重症患者への対応や、手術を要する患者さんへの術後リハビリも含めた全方面的な対応を行うことから生じていました。

このような状況下、国は 1997 年に地域医療支援病院制度を設け、種々の要件を満たす病院を地域医療の中核を担う役割とした、地域医療支援病院の認定を開始しました。

二次医療圏毎に 1 つ以上存在していることが望ましいとされる地域医療支援病院ですが、当院は入院機能ならびに地域人材支援においてはその機能を有していても、先に述べたような開業医が少ないなど地域の特殊性より一部の外来要件を満たすことができず、地域医療支援病院の承認は得られておりません。(長野県内の 400 床以上の急性期病院で地域医療支援病院の指定を受けていないのは当院のみです。)

国は新たに 2022 年、外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、外来における医療資源の重点的な活用に着目して、紹介患者を対象とした外来を基本とする紹介受診重点医療機関の考えを示してきました。これは要件としては、地域医療支援病院ほど厳しくはありませんが、指定を受ける、或いは指定を目指すことにより、患者の流れを変え、待ち時間対策や医師の働き方改革に寄与することを目的とした制度であります。

更に国・県は、目指すべき医療提供体制として、医療機関を広域型と地域型に分け、更なる役割分担と連携の推進を求めています。

広域型病院に求められる機能として、当院は入院機能をすべて満たしておりますが、一方で、外来機能はその要件を満たしていない状況がありました。そこで地域から求められる広域型病院としての責務を果たすべく紹介受診重点医療機関を目指して過去数年にわたり取り組んでまいりました。

#### 資料 1, 2, 3

### 2、理由

国は、医療の効率化（医療費削減）のために、患者さんが大病院にではなく、先ずはかかりつけ

医に受診するよう、待ち時間の短縮や医師の働き方改革と絡めて、病院とクリニックの機能分化（病院から在宅への移行）を進めています。その方策の一つとして、紹介受診重点医療機関という新たな考え方を2022年に示し、2023年より導入してきました。

今回制度化された紹介受診重点医療機関は、当院のあり方と地域の中での役割を改めて考える機会となりました。

課題を検討していくなかで、当院が現在持っている急性期病院としての機能を将来にわたって維持することが、地域への貢献になると考え、今回の「紹介受診重点医療機関への発議」に至りました。

1) 外来患者数が年々増加している状況が続いている。外来の待ち時間は以前より短縮されてきたが、まだ不十分である。地域の開業医との間で紹介受診と逆紹介を推進し、当院としては、より専門的な医療を必要とする外来診療を担うことで、地域の外来医療の役割分担に貢献する。資料4

2) 当院では救急搬送受入件数および手術件数が年々増加している。  
このような状況下、医師は外来診療に関わる時間が長く、その中で救急車対応も行い、かつ入院治療や検査、手術を外来の合間や終了後にやらざるを得ない。そのため、検査・手術が夜遅くまでかかり、入院患者さんに少なからず迷惑をかけている。外来の役割分担をすすめることで、患者さんに満足いただける質の高い入院治療や手術、救急の対応が取れる体制をつくり、地域の急性期医療に貢献する。

3) 小布施以北では皮膚科専門医は当院にのみ在籍しており、当地域では小児科の開業医も少ない。初診患者数の分析から皮膚科と小児科の初診患者数が全体の約3割を占めており、そのため紹介率・逆紹介率が上がりにくい状況になっていた。北信クリニックを開業したことで、皮膚科と小児科を受診する患者さんの初診時選定療養費の経済的負担をなくし、かつ北信総合病院での紹介率・逆紹介率を高い状態で維持することが可能になった。資料5.6.7

4) 現在ある医療機器、設備を活かし、地域にとって有効に活用させていきたい。2024年度は10億円を超える医療機器等の更新を行った。急性期入院機能、救急機能を強化することで、地域への貢献になると考えている。

また当院は県より地域医療人材拠点病院の指定を受けており、医師不足が深刻な小規模病院などへの医師派遣を通じた支援を行い地域医療を支えている。資料8

### 3、今後、北信総合病院が地域で果たす能力と方向性

当院は、高度医療機器や施設を持ち、また専門技術をもったスタッフが多数在籍しています。高い専門性を備えた治療、年間3,000台以上の救急車受け入れなど、急性期医療の機能は、地域住民の命と健康を守る役割が果たせていると考えます。

「地域住民の暮らしと健康を守るべく急性期医療・専門的医療機関」の役割をひきつづき担っていきたいと考えています。

また外部の病院や開業医の先生方との連携もさらに進め、当院が持っている設備や機能を活かし、

また活用していただき、地域住民の健康に貢献していきたいと考えています。

#### 4、基準達成に向けた具体的な取り組みとスケジュール

##### 1) 具体的な取り組み

- ①北信クリニックを開業し、皮膚科と小児科の患者さんへの初診時選定療養費の負担を無くし、他院や開業医との連携を更に強化し、外来機能の分化をすすめる
- ②地域連携の強化  
他病院や開業医の先生方との連携をすすめ、紹介・逆紹介のさらなる推進を行う
- ③患者さんへの受診方法（紹介状持参）の周知徹底 **資料 9.10.11**

##### ・ 11月15日(土) 病院祭

→病院長より紹介受診重点医療機関について、地域住民向け市民公開講座にて講演予定。

##### ・ 11月28日(金) 病院運営委員会 →各市町村の首長などに、北信保健所同席のもと説明予定。

##### ・ 1月16日(金) JA 中野市総代研修会 →統括院長より地域住民に向け講演予定。

##### その他

※随時広報等で周知しています。 **資料 12.13**

##### 2) スケジュール

2025年度5月より紹介率・逆紹介率は参考値（紹介率50%・逆紹介率40%）を達成しております。  
できるだけ早期の「紹介受診重点医療機関」の認定を目指します。

- ・令和7年度第1回地域医療構想調整会議(書面)：発議・内容確認
- ・令和7年度第2回地域医療構想調整会議(対面)：承認に向けた合意形成

【資料】

救急搬送受入件数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
救急車台数	3,199 件	3,384 件	3,404 件

(出典：救急外来統計より)

医師数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
医師数	85 件	92 人	91 人

(出典：北信総合病院年報より)

手術件数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
心臓血管外科	189 件	184 件	218 件
整形外科	435 件	486 件	417 件
外科	488 件	488 件	396 件
形成外科	282 件	346 件	351 件
泌尿器科	296 件	285 件	338 件
眼科	893 件	936 件	1,011 件
脳神経外科	99 件	117 件	118 件
その他	519 件	556 件	614 件
合計	3,201 件	3,407 件	3,463 件

(出典：北信総合病院年報より)

麻酔件数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
全身麻酔	1,706 件	1,858 件	1,797 件
腰椎麻酔	188 件	173 件	165 件
その他麻酔	1,307 件	1,376 件	1,501 件
合計	3,201 件	3,407 件	3,463 件

(出典：北信総合病院年報より)